プログラム	内容
主催挨拶	代表取締役社長　金杉恭三
映像放映	杉原千畝　命のビザの軌跡
特別講演	**杉原千畝が21世紀に語りかけるもの** コロナ禍で考える「命のビザ」 ＜スペシャルゲスト＞ 外交ジャーナリスト／作家　手嶋龍一氏
鼎談	外交ジャーナリスト／作家　手嶋龍一氏 ジャーナリスト／ 作家　松富かおり氏 代表取締役社長　金杉恭三

手嶋龍一　外交ジャーナリスト／作家

NHKのワシントン特派員として冷戦の終焉に立ち会い、湾岸戦争では最前線に赴く。ハーバード大学国際問題研究所に招聘された後、ドイツ支局長を経て、ワシントン支局長を8年間務める。9.11同時多発テロ事件では11日間の連続中継を担った。NHKから独立後は、日本初のインテリジェンス小説『ウルトラ・ダラー』、姉妹篇『スギハラ・サバイバル』を発表し50万部のベストセラーに。近著に『ブラックスワン降臨』、『汝の名はスパイ、裏切り者、あるいは詐欺師』の他、『独裁の宴』、『米中衝突』、『公安調査庁』など佐藤優氏との対談シリーズがある。東京理科大・上席特任教授として外交・安保、情報戦略論を講じている。

松富かおり　ジャーナリスト／作家

TBSでニュースキャスター、レポーターとして活躍。「筑紫哲也ニュース23」などへ出演。1999年、外交官の夫が日本大使館公使となり、ニュージーランド、トルコ、フランスに赴任。その後、イスラエル大使夫人、ポーランド大使夫人となる。ポーランドでは、70を超える大使館をまとめ、大統領夫人と共催のチャリティ・バザーを企画し、日本と外国の架け橋になるべく務めるなど、豊富な外交経験を持つ。現在、「国際関係」の記事を書き、オフィシャルFBのレギュラーフォロワーは、1万人を超える。本年7月末『エルドアンのトルコ』（中央公論新社）を出版。東京大学で社会心理学士、ビクトリア大学で国際関係学修士号取得。

主催　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

後援　岐阜県・福井県、敦賀市・八百津町、
駐日イスラエル大使館・駐日ポーランド共和国大使館・駐日リトアニア共和国大使館
（都道府県・市町村・駐日大使館ごとに50音順）

写真提供・協力　八百津町役場、杉原千畝記念館、人道の港 敦賀ムゼウム、
NPO法人 杉原千畝命のビザ、福井テレビジョン放送株式会社、株式会社JTB

視聴URL　https://www.aioinissaydowa10thevent-inochinovisa.com

配信期間　2020年12月6日（日）午前9:00 ～ 12月20日（日）午前9:00

※上記URLの特設サイトをご覧ください。［特設サイトは11月9日（月）からオープン予定］
※英語・中国語・韓国語の字幕による配信は、12月13日（日）午前9:00～12月27日（日）午前9:00を予定しております。
※PC・スマートフォン・タブレット端末での視聴が可能です。

● 視聴ページ推奨環境

OS・ブラウザ	【PCの場合】 ・Windows® 8.1　[ブラウザ]Microsoft Internet Explorer® 11、最新版のFireFox、Google Chrome™ ・Windows® 10　[ブラウザ]Microsoft Internet Explorer® 11、最新版のMicrosoft Edgee、FireFox、Google Chrome™ ・MacOS X 10.11以降　[ブラウザ]Safari 【モバイルの場合】 ・iOS 11.2以降　[ブラウザ]Safari ・AndroidTM OS 5.0以降　[ブラウザ」最新版のGoogle Chrome™
回線	ADSL、CATV（ケーブル）、光回線などの高速回線（推奨：2Mbps 以上、必須：500kbps 以上） ※ISDN、データ通信カードなどは動作保証外です。 モバイルの場合、3G/4G LTE 回線でも視聴可能ですが、映像の視聴には多くのデータ通信が発生することから、Wi-Fi での通信を推奨しています。 また、各携帯事業者が提供するプランによるデータ通信量の制限等に十分ご注意ください。

※ クッキー・JavaScript・TLS1.2の有効化が必要です。
※ 推奨環境を満たしていても、インターネットの回線状況・混雑状況、あるいは別アプリケーションの同時利用等により、正常に再生できない場合があります。

MS&AD あいおいニッセイ同和損保

(201101) 05-245

あいおいニッセイ同和損保
立ちどまらない保険。
MS&AD INSURANCE GROUP

10TH
おかげさまで10周年!

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
創業10周年記念企画

外交官
杉原千畝
命のビザ

第二次世界大戦中、迫害から逃れようとするユダヤ系避難民の方に「命のビザ」を発給し続け、6千人の方を救済した元外交官 杉原千畝さん。現代に生きる我々が彼から学ぶべきこととは。
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、創業10周年記念企画として、杉原千畝さんをテーマにした特別番組を配信いたします。

代表取締役社長　金杉恭三

本年は、当社にとって記念の年であるだけではなく、日本の「ある偉人」にとっても、記念の年になっています。その人は、第二次世界大戦当時、リトアニアの領事代理であった杉原千畝という方です。杉原さんは、迫害から逃れるために日本の通過ビザを求めてきた多くのユダヤ系避難民の方に、大変な困難や葛藤を乗り越えて、ビザの発給を続け、6千人もの尊い人命を救われた方です。本年は、杉原さんの生誕から120年、ビザ発給から80年という節目の年にもあたっているということです。

私は、杉原さんの生き方こそ、「人道主義」に基づくものであり、人として在るべき姿を示された方であると考えております。世界大戦という大変な環境の下であったことも考えあわせると、まさに、「日本が世界へ誇るべき人道主義者」であると申し上げても過言ではないと思います。このような考えから、杉原さんを多くの方へ紹介させていただく機会を願っており、創業10周年記念企画としてお届けすることといたしました。

この企画は、杉原さんの逸話に基づく著書があり、「真実の杉原千畝さん」に大変お詳しい手嶋龍一さん、外交官夫人としてイスラエルやポーランドで過ごされたご経験をお持ちの松富かおりさんをゲストに迎えてお送りいたします。この企画でしか聞けない、等身大の杉原千畝像やグローバルな視点からとらえた杉原さんについて、伺えるものと期待しております。皆様 どうぞ、お楽しみに。

杉原千畝 関連年表

1939 昭和14年

領事代理として赴任
リトアニアの首都カウナスでの日本領事館開設を命じられ、
リトアニアの首都カウナスでの日本領事館開設を命じられ、

国際情勢
・ポーランド分割
・ドイツ・ソビエト連邦による
第二次世界大戦勃発
・ドイツ軍ポーランド侵攻、
・独ソ不可侵条約締結
（ドイツ保護下へ）
・チェコスロヴァキア解体

カウナス日本領事館

1940 昭和15年

ドイツ保護領のプラハ総領事館に赴任
列車が出るまで、日本通過ビザを書き続ける
9月初旬カウナス駅から国際列車にてベルリンへ出発
9月5日ごろまでホテルに滞在
8月28日に日本領事館は閉鎖されたが、
日本通過ビザの発給を始め、計2139家族に発給
日本領事館に集まったユダヤ系避難民の方に

国際情勢
・日独伊三国同盟締結
・ソビエト連邦、リトアニアを併合
・ソビエト連邦軍、バルト三国に侵攻

カウナス日本領事館の執務室

1941 昭和16年

11月、ルーマニアのブカレスト日本公使館に赴任
3月、ドイツ領のケーニヒスベルク日本総領事館に赴任

ブカレスト日本公使館

1942 昭和17年

国際情勢
ユダヤ系の方の虐殺が始まる
・ワルシャワ・ゲットー（ユダヤ人居住区）において
・ドイツ、「ユダヤ人問題の最終的解決」を決定

1945 昭和20年

ブカレストの捕虜収容所に敗戦国の外交官として収監される

1947-60 昭和22-35年

ソビエト連邦のモスクワに駐在する
商社の事務所長として
科学技術庁、NHK国際局などの職に就く
連合国軍東京PX、米国貿易商会、三輝貿易、ニコライ学院教授、
1947年6月に外務省退官
ソビエト連邦のウラジオストクから帰国

ソビエト連邦での商社時代

1968 昭和43年

28年ぶりに再会を果たす
杉原さんが救った元ユダヤ系避難民ニシュリ氏と

1969 昭和44年

同氏から勲章を授与される
イスラエル・バルハフティック宗教大臣と再会
杉原さんが救った

イスラエル・バルハフティック宗教大臣から勲章を授与

1977 昭和52年

モスクワから帰国

1985 昭和60年

「諸国民の中の正義の人賞」（ヤド・バシェム賞）を受賞
イスラエル政府から日本人では唯一となる

1986 昭和61年

神奈川県鎌倉にて永眠（享年86歳）

2000 平成12年

日本政府による公式な名誉回復が果たされる
外務省外交史料館に顕彰プレートが設けられ、

顕彰プレートの除幕式

6千人の命を救った男 杉原千畝

©NPO法人 杉原千畝命のビザ

1940年7月 ヨーロッパにおける第二次世界大戦が激しさを増す緊迫した状況のなか、迫害を逃れてきたユダヤ系避難民の方が、日本の通過ビザを求めて、杉原さんが領事代理として赴任していたリトアニアの首都カウナスの日本領事館へ押し寄せました。その多くは、日本政府が定めていた外国人入国令による通過ビザの発給要件を満たしていない方でした。杉原さんは、本国へビザ発給を打診しますが、回答は不可というものでした。杉原さんは、悩み苦しんだ末、ついに良心に従い、自らの判断でビザ発給という道を選択します。それは、人道・博愛精神に基づく「命のビザ」発給という大きな決断でした。

その後、日本の通過ビザの発給を受けたユダヤ系避難民の方は、シベリア鉄道を使ってソビエト連邦を横断し日本へ渡り、さらにアメリカ大陸や上海などへ逃避することができ、その命が救われることになりました。その数は、約6千人と言われています。また、その子孫の方も合わせると実に25万人以上にも及ぶと言われており、現在、世界各地で活躍されています。

1939～1940年の東ヨーロッパとユダヤ系避難民

1939年8月 杉原さんは、リトアニアの首都カウナスでの日本領事館開設のため、領事代理として赴任します。その直後の9月、第二次世界大戦が勃発します。ドイツ軍がポーランドへ侵攻し、ヨーロッパは戦火に包まれていきます。ドイツは、デンマーク、ノルウェー、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランスと次々に侵略を続け、戦禍から逃れようとする多くの避難民が発生しました。特に、ユダヤ系の方は、1933年のナチス独裁政権の成立と同時に始まった「ユダヤ人排斥運動」によって、後にホロコーストと称されることとなる厳しい迫害政策の対象となっていました。当時、ヨーロッパ最大のユダヤ系社会を有していたポーランドでは、ドイツと同時に侵略してきたソビエト連邦によって分割占領され、多数のユダヤ系の方が迫害から逃れようとしていました。避難民となったユダヤ系の方はあらゆる方面に逃避を試みました。このうち、一部の方は、当時はまだ独立した中立国であったリトアニアに逃げ込むことに成功します。しかし、リトアニアも、1940年6月にソビエト連邦軍が侵攻、同年8月にソビエト連邦に実質的に併合されることとなってしまい、彼らには再び逃避を余儀なくされるという過酷な運命が待っていました。「命のビザ」は、このような切迫した状況において発給されたものだったのです。

カウナス全景

カウナス日本領事館前でビザ発給を訴えるユダヤ系避難民の方たち

施設紹介 杉原千畝記念館

第二次世界大戦中の杉原千畝さんがとった人道的行動を称え、後世に伝える記念館です。当時の歴史背景や杉原千畝さんの発給ビザで救われた避難民の足跡などを詳しく解説。「命のビザ」(レプリカ)の展示、リトアニア執務室を再現した「決断の部屋」などは必見です。

- 所在地　〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津1071
- アクセス　東海環状・可児御嵩ICより車で20分
  名神高速・小牧ICより車で60分
  八百津町ファミリーセンターより
  無料シャトルタクシーで10分(土日祝のみ)
- 営業時間　9:30~17:00（入館受付は16:30まで）
- 休館日　毎週月曜日（祝日または振替休日の場合は翌日）・
  年末年始（12月29日から1月3日まで）
- 入館料　個人　大人（高校生以上）300円
  団体（20名以上）　大人（高校生以上）250円
  ※障害者手帳をお持ちの方は団体料金になります。中学生以下無料

写真、紹介文提供：八百津町役場

施設紹介 人道の港 敦賀ムゼウム

資料館「人道の港 敦賀ムゼウム」では、数々の苦難を乗り越えて敦賀に降り立ったポーランド孤児とユダヤ系避難民の方の史実を中心に、当時の敦賀市民の証言やエピソードのほか、今も続く関係者との心温まる交流を紹介し、命の大切さと平和の尊さを発信しています。

- 所在地　〒914-0072　福井県敦賀市金ケ崎町23-1
- アクセス　北陸自動車道・敦賀ＩＣより 車で約10分
  バス利用の場合JR敦賀駅より「ぐるっと敦賀周遊バス」
  （観光ルート）で約10分「金ヶ崎緑地」停留所下車
  JR敦賀駅より タクシーで約10分
- 営業時間　9:00 ～ 17:00（受付は16:30まで）
- 休館日　水曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
- 入館料　一般　大人500円、小学生以下300円
  団体（20名以上）　大人400円、小学生以下240円
  ※4歳未満無料、障がい者およびその介護者1名は無料

写真、紹介文提供：人道の港 敦賀ムゼウム